

TERRAMAP STANDARD/DX **セットアップマニュアル**



目次

1. はじめに.....	3
2. 動作環境.....	3
3. セットアップの手順	4
3-1 操作内容一覧	4
4. セットアップ方法	5
4-1 地図データ(スーパーマッフル・デジタル)のインストール	5
4-2 TerraMap のセットアップデータのダウンロードと実行	6
4-3 セットアップ時に表示されるメッセージについて	9
4-4 TerraMap のインストール、バージョンアップ	10
4-5 データのインストール	12
4-6 ディスクをお持ちの場合	15
4-7 ライセンスキーの取得と登録	16
5. コンピュータの変更時のデータ移行とアンインストール	18
5-1 データのバックアップ	18
5-2 TerraMap のアンインストール	20
5-3 地図データのアンインストール	23
5-4 バックアップデータのリカバリ	24

1. はじめに

このマニュアルは TerraMap に関する以下のセットアップ操作を行われる際にご覧ください。
本文書内の青色の文字をクリックすると該当ページにジャンプします。

・新規インストール	・バージョンアップ
・コンピュータの故障・修理時に伴う再インストール	・使用するコンピュータの変更に伴う再インストール
・オプション、カスタマイズ機能の追加インストール	・オプションデータの追加インストール

2. 動作環境

OS	Windows 10 / 8.1 (デスクトップモードのみ) ※ Microsoft 社のサポートが終了している Windows での動作保証はいたしません。 ※ Internet Explorer7.0 以上必須 ※ 日本語版 Windows 必須。 他言語版の Windows では正常に動作しない場合がございます。 ※ Windows の表示言語は日本語に設定されている必要があります。 ※ インストール時はアドミニストレーター権限を持つユーザーアカウントで操作を行って下さい。 ※ .NetFramework4.6.2 のインストール必須。インストールされていない場合 TerraMap のインストール時に自動でインストールを行います。
CPU	各 OS が推奨する CPU
メモリ	各 OS が推奨するメモリ容量
HDD 空き容量	最低 20GB 以上の空きが必要です。 使用するデータによって必要な容量は変わります。
ディスプレイ	解像度 1024×768pic True Color(24 ビット)以上 ※ DPI 値(テキスト・アプリ・その他の項目のサイズ)の設定は 100%でご使用ください。
その他	・インストールには DVD-ROM ドライブが必要です。 ・インターネット環境推奨 但し、時間圏取得(ルート距離計測・交通センサス含む)機能・起動時 Ver チェック機能、外部リンク機能、お知らせ取得機能、折込エリア、郵便番号エリア、データ紹介・用語解説を使用する場合、インターネット環境は必須です。 また、接続先が制限されている環境の場合、下記 URL に対して問題なく通信できる必要があります。 https://www.mapmarketing.co.jp https://act.mapmarketing.net (時間圏機能をお使いの場合のみ) https://act2.mapmarketing.net (") ・Windows のカレンダーは西暦に設定されている必要があります。 ・Windows の Guest アカウントでは正常に動作しません。「管理者」もしくは「標準」アカウントでログインの上ご使用ください。 ・機種依存文字を使用している Windows アカウント名でログインした場合正常に動作しません。 ・Windows のシステムロケールは「日本語(日本)」に設定されている必要があります ・昭文社「スーパーマッフル・デジタル 17 以降」のインストールが必要です。 ・1 ライセンスにつき 1 台のコンピュータに限り利用可能です。 ※本ソフトウェア製品をネットワークサーバにインストールし、ネットワークを介して利用した場合、正常に動作しないことがあります。(リモートデスクトップ接続または、それに類似する環境等を含む) 【ワンクリックレポートシリーズについて】 ・TerraReport、ハブモデル分析機能をご利用の際は Microsoft Excel が必要です。 ※Excel はデスクトップアプリ版 2013 以降必須

3. セットアップの手順

セットアップ内容に応じて実施項目が異なります。
「○・△」が表示されている手順をご確認いただきセットアップを行ってください。

3-1 操作内容一覧

セットアップ内容				
I	新規セットアップ			・新規に購入した TerraMap をセットアップする。
	II	バージョンアップ		・使用中のコンピュータにインストールされている TerraMap をバージョンアップする。
		III	再セットアップ 1	・TerraMap の機能に問題が発生したため、同一のコンピュータに再セットアップする。
			IV 再セットアップ 2	・TerraMap を使用するコンピュータを変更する。 ・バージョンアップと同時にコンピュータを変更する。
			V データのインストール	・追加購入したデータをインストールする

*1:「スーパーマッフル・デジタル 17」以降がインストール済みの場合は任意です。

*2:TerraMap のアンインストールのみ行った場合は不要です。

*3:データ移行のためのバックアップを行わない場合、操作は不要です。

4.セットアップ方法

4-1 地図データ(スーパーマッフル・デジタル)のインストール

- 「スーパーマッフル・デジタル」は TerraMap で使用する背景地図ソフトです。
インストールされていない場合 TerraMap のインストールを行うことができません。

TerraMap を利用するコンピュータに昭文社スーパーマッフル・デジタル 17(以降)をセットし、インストールを行ってください

- ※ インストール方法の詳細は、以下の注意点をご確認の上、スーパーマッフル・デジタルに付属のインストールマニュアルをご覧ください。

- コンピュータに 13GB 以上の空き容量が必要とります。
- 必ず、Windows に管理者権限のアカウントでログインした状態で作業を行ってください。
- 地図データの最新版は新規購入時及びお申込みいただいたお客様にお送りしています。
TerraMap2021 は「スーパーマッフル・デジタル 17(以降)」で動作します。
スーパーマッフル・デジタル 17(以降)」がインストールされていれば地図データの更新は任意です。
インストール済みの場合は、「スタート」→「すべてのプログラム」または「すべてのアプリ」に、「スーパーマッフル・デジタル 17(以降)」があります。
- インストール時にはスーパーマッフル・デジタルのシリアル番号が必要です。DVD に付属しているインストールマニュアルに記載のシリアル番号をご入力してください。**TerraMap のシリアル番号とは異なります**ので、ご注意ください。

4-2 TerraMap のセットアップデータのダウンロードと実行

TerraMap 本体、アップデートツール、統計データ、ポイントデータは自己解凍形式のファイルでダウンロードされます。ダウンロード時の確認画面で「実行」ボタンが表示される場合は、選択していただくことで解凍処理が行われます。また、ポイントデータ以外のデータは、解凍終了後インストールが自動実行されます。

- ※ 必ず、Windows に管理者権限のアカウントでログインして作業を行ってください。
- ※ TerraMap、及び TerraCoding は終了した状態で作業を行ってください。
- ※ ポイントデータについては圧縮ファイルの展開までとなります。
- ※ 複数のデータを同時にインストールすることはできません。
- ※ ダウンロードからインストール終了までの所要時間はデータにより異なります。

※ ディスクをお持ちのお客様は 15 ページ 4-6 ディスクをお持ちの場合をご参照ください。

I. データダウンロードページにアクセスします。

下記リンクをクリックするとデータダウンロードページが開きます。
インターネットブラウザで本マニュアルを御覧頂いている場合、キーボードの[Ctrl]キーを押しながらクリックすると新しいタブで表示されます。

【データダウンロードページ】

<https://www.mapmarketing.co.jp/cgi-bin/sup/statdata.cgi>

II. データダウンロードページにログインします。

TerraMap のシリアル番号を入力しデータダウンロードページにログインします。
過去にログインされた履歴がある場合は表示されません。IIIへお進みください。

セットアップ・統計データのダウンロード

こちらのページはログインが必要です。

お使いのTerraシリーズのシリアル番号を入力し、ログインしてください。

[TerraMapでのシリアル番号の確認方法について（PDF）](#)

シリアル番号：

ログイン

 このフォームはSSL通信で暗号化されています。

※弊社サイトではログイン時に入力したシリアル情報を取得しております。取得したシリアル情報はサポート向上、製品案内等の営業活動および製品不具合時のダウンロードユーザの特定に使用しますのでご了承ください。

Ⅲ. ファイルのダウンロードと実行

「セットアップ・統計データのダウンロード」ページが表示されます。

① 実行する作業に応じて「セットアップ用データ」タブもしくは「バージョンアップ用データ」タブを選択します。

「セットアップ用データ」タブ

新規セットアップ、コンピュータの変更を伴う再セットアップ、オプション、カスタマイズ機能の追加インストール、オプションデータの追加インストールを行う場合に使用します。ご利用可能なすべてのデータが表示されています。

「バージョンアップ用データ」タブ

TerraMap のバージョンアップ実行時に使用します。

バージョンアップ時に更新が必要なデータだけが表示されています

※ バージョンアップ前に必要なデータがすべてインストール済みの必要があります。

不明の場合は、「セットアップ用データ」タブのすべてのデータをインストールされても問題はありません。

「セットアップ用データ」タブ・「バージョンアップ用データ」タブの同名のデータは同一データです。どちらのデータをインストールされても問題ございません。

② インストール対象データの「ダウンロード」ボタンをクリックします。

③ 確認画面の「実行」ボタンをクリックします。

※ ブラウザの設定で「実行」ボタンが表示されない場合は、ダウンロード終了後にブラウザに設定されているダウンロード先フォルダに保存されているファイルを手動で実行してください。

※ 複数データを同時に「実行」することはできません。

※ 同じコンピュータでの TerraMap の再セットアップの場合、TerraMap のアンインストールを行っても過去にインストールした「統計データ」はコンピュータ内に保持しております。「統計データ」のダウンロードおよびインストールは不要です。

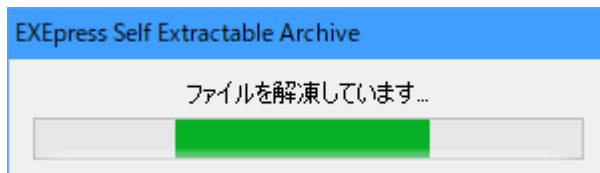
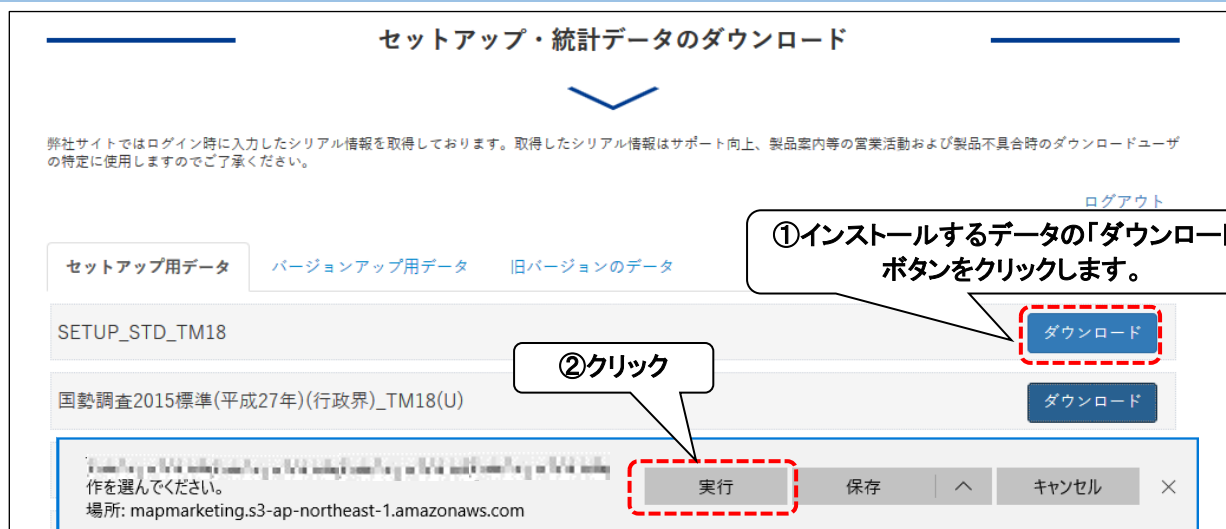
※ 過去の国勢調査データなど今後使用しないデータのインストールは不要です。

※ TerraReportBasic をお使いの場合はレポート出力対象年度と前回の国勢調査データのインストールが必要です。

【ダウンロードファイルの実行手順】

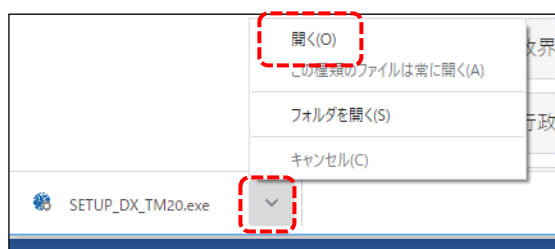
※ ダウンロード画面は、ブラウザによって異なります。

【Internet Explorer / Edge の場合】



ダウンロードが終わると自動的にファイルの展開が始まります。

【Google Chrome の場合】



ダウンロード後にメニューから[開く]をクリックするとファイルの展開が開始します。

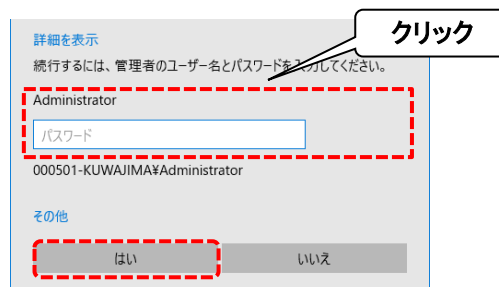
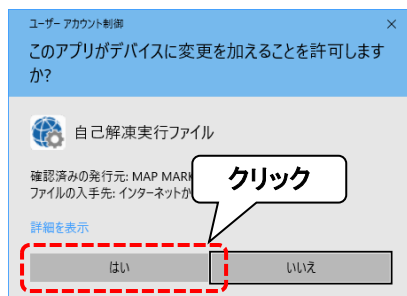
展開が終了すると選択したデータに応じて表示される画面が異なります。セットアップ方法の詳細は下記の「[参照ページ](#)」をご覧ください。

選択したデータ	参照ページ
・SETUP_STD_TM## ・SETUP_DX_TM## などの場合	4-4 TerraMap のインストール、バージョンアップ
・国勢調査 2015 標準(平成 27 年)(行政界)_TM##(U) ・年収別世帯推計データ 2015(平成 27 年)(東京)(行政界)_TM##(U) ・TerraReportBasic_TM##(U) などの場合	Ⅱ. 統計データのインストール
・時間圏機能 ・DX_エディション変更ツール などの場合	Ⅲ アップデートツールのインストール
・駅別乗降者数総覧 2017(平成 29 年)(ポイント) ・大型小売店データ 2018(平成 30 年)(ポイント) などの場合	Ⅳ オプションで購入されたポイントデータのインストール

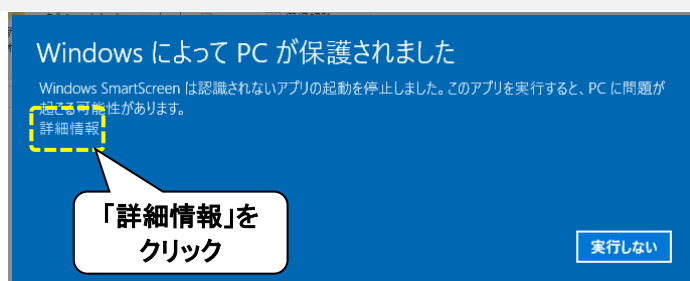
4-3 セットアップ時に表示されるメッセージについて

インストール中に以下のメッセージが表示される場合があります。

インストール中にユーザーアカウント制御の画面が出る場合があります。「はい」をクリックして続行してください。また、インストールしているアカウントに管理者権限がない場合には、管理者権限アカウントのパスワードを入力して「はい」をクリックしてください。



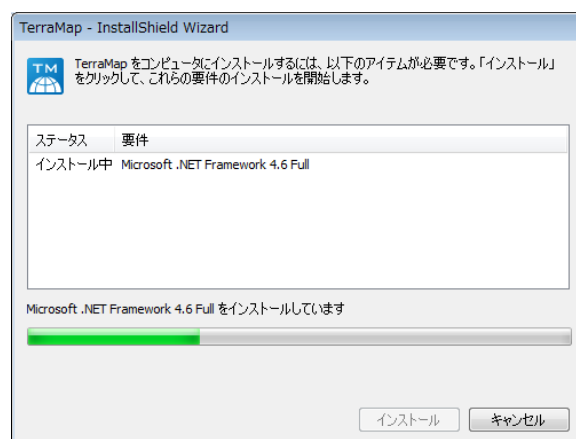
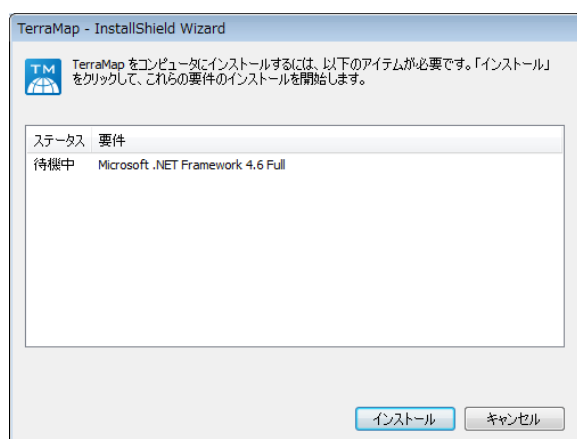
お使いの環境によっては、Windows のスマートスクリーンフィルターにより以下のメッセージが表示される場合があります。「詳細情報」をクリックして表示される「実行」ボタンをクリックしてインストールを行ってください。



【Microsoft.NET Framework4.6.2 のインストールについて】

「SETUP_STD(または DX)_TM##」の実行時に、お使いのコンピュータの環境に、Microsoft.NET Framework4.6.2 が未インストールの場合、TerraMap のインストールが終了すると自動的に「TerraMap – InstallShield Wizard」が起動します。インストールを行ってください。

※ お使いの環境によってインストールに 10 分以上お時間がかかる場合がございます。



4-4 TerraMap のインストール、バージョンアップ

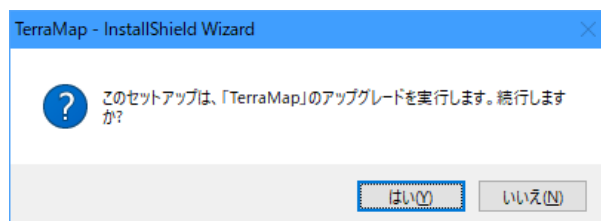
データダウンロードページで「SETUP_STD(または DX)_TM##」を選択します。

展開処理が完了すると「TerraMap – InstallShield Wizard」が表示されます。

メッセージが表示される場合は [4-3 セットアップ時に表示されるメッセージについて](#) を参照。

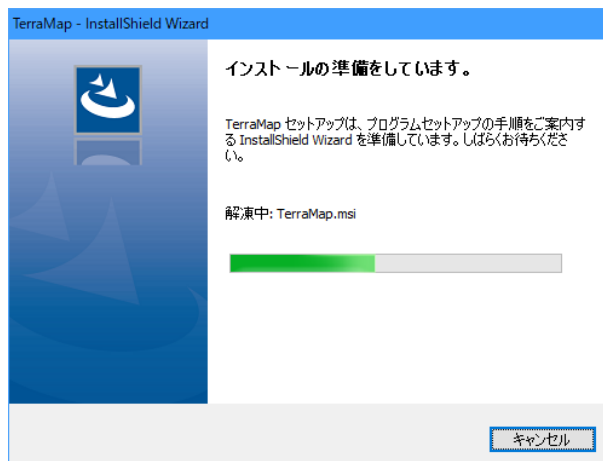
【バージョンアップの場合】

※ バージョンアップの場合は、アップグレードの確認メッセージが表示されます。[はい]をクリックして処理を行います。

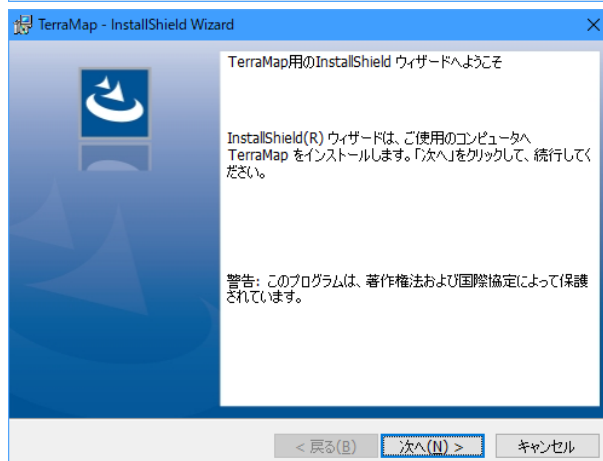


「TerraMap – InstallShield Wizard」

インストールの準備が始まります。
終了するまでしばらくお待ちください。

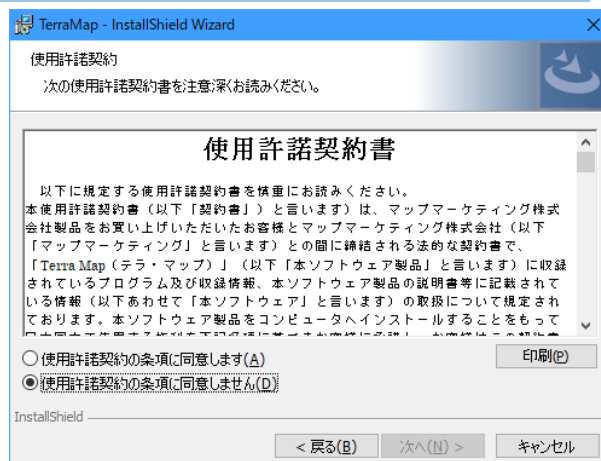


「TerraMap 用の InstallShield ウィザードへようこそ」ダイアログが表示されます。
「次へ」ボタンをクリックします。



新規インストール時は次の画面が表示されます

「使用許諾契約」ダイアログが表示されます。
「使用許諾契約の条項に同意します」をクリックして「次へ」ボタンをクリックします。「ユーザー情報」ダイアログが表示されます。



「ユーザー情報」ダイアログで「ユーザー名」「所属」「シリアル番号」を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

※ 「ユーザー名」と「所属」は任意のもので構いません。

「インストール先のフォルダ」ダイアログが表示されます。

インストール先を確認し、「次へ」ボタンをクリックします。

※ デフォルトのインストール先以外に、インストールする場合は、「参照」ボタンをクリックしインストール場所を指定してください。インストール場所を決定後、「次へ」ボタンをクリックします。

※ ルートディレクトリへのインストールに対応しておりません。 例(「C:¥」「D:¥」等)

※ フォルダを作成する場合は、全角文字を使用しないでください。(一部文字に対応しておりません)

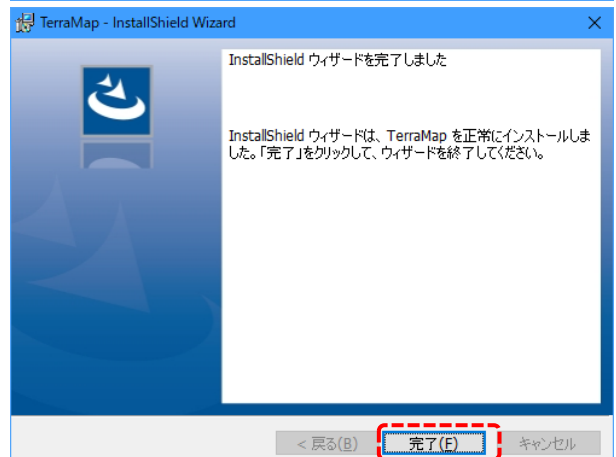
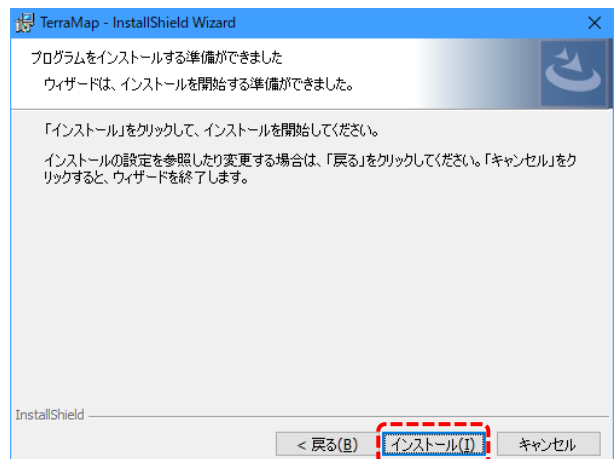
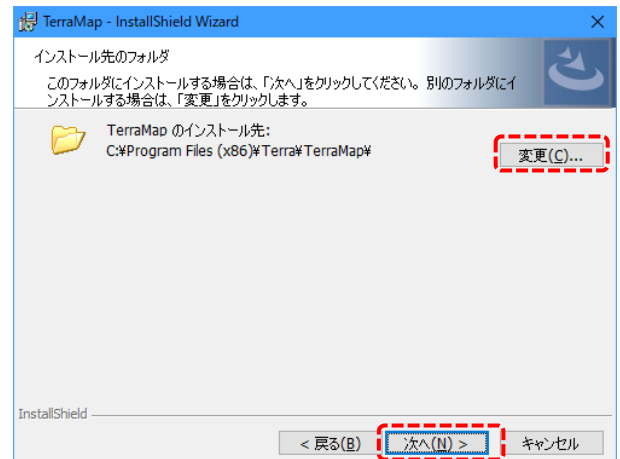
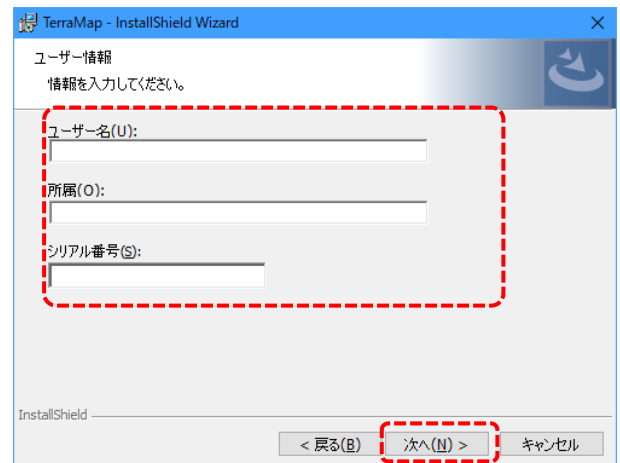
「インストール開始」ダイアログが表示されます。

「インストール」ボタンをクリックします。

「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。

インストールが終了すると、完了画面が表示されます。

「完了」をクリックしてインストールを終了します。



4-5 データのインストール

I. データの種類

- 国勢調査などの統計データ
- TerraMap Standard から DX へのアップグレード、カスタマイズ機能の追加などのアップデートツール
- オプションで購入されたポイントデータ

「セットアップ用データ」タブもしくは「バージョンアップ用データ」タブから必要なデータを選択します。
詳細は 4-2 [III. ファイルのダウンロードと実行](#)を参照。

II. 統計データのインストール

※ TerraMap のアンインストールを行っても過去にインストールした「統計データ」はコンピュータ内に保持しております。

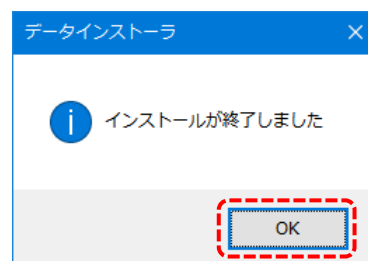
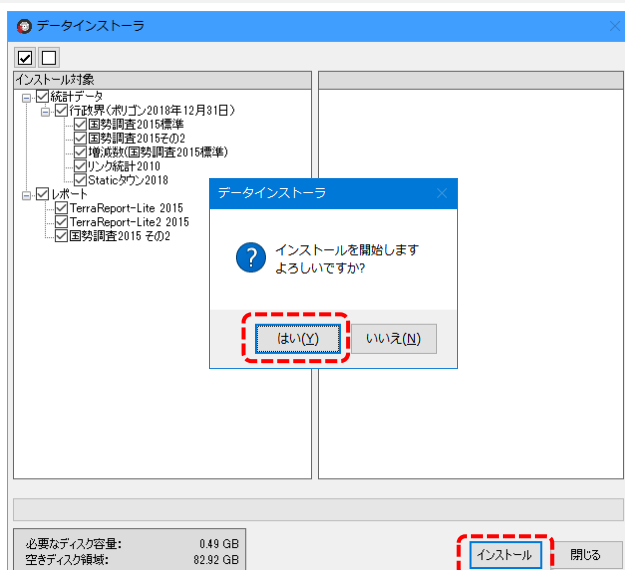
同じコンピュータでの TerraMap の再セットアップを行う場合、統計データのインストールは不要です。

データダウンロードページで選択したデータの展開処理が完了すると「データインストーラ」が表示されます。
メッセージが表示される場合は 4-3 [セットアップ時に表示されるメッセージについて](#)を参照。

「データインストーラ」の実行

「データインストーラ」画面が表示されます。
「インストール」をクリックしてください。
確認画面が表示されます「OK」をクリックして統計データのインストールを開始します。

インストールが終了すると、終了メッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしメッセージを閉じ、「TerraMap データインストーラ」が終了します。



複数のデータをお持ちのお客様は、同様の手順で、すべての統計データのインストールを行ってください。

※ 複数のデータのインストール処理を同時に実行することはできません。

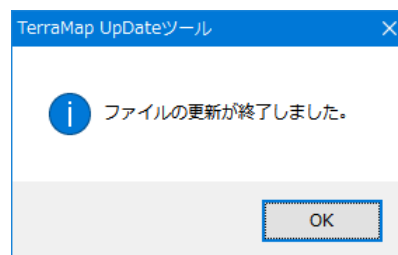
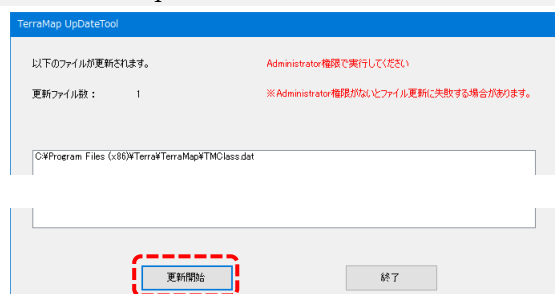
Ⅲ アップデートツールのインストール

TerraMap Standard から DX へのアップグレード、カスタマイズ機能等の追加の際は TMUpDateTool を実行します。
※ 「データダウンロード」ページには追加機能の名称で表示されます。例)「DX_エディション変更ツール_TM21」等
※ TerraMap Standard から DX へのアップグレードの場合、追加される標準搭載データのインストールも行ってください。

データダウンロードページで選択したデータの展開処理が完了すると「TerraMap UpDateTool」が表示されます。
メッセージが表示される場合は [4-3 セットアップ時に表示されるメッセージについて](#) を参照。

「TerraMap UpDateTool」の実行

[TerraMap UpDateTool] ウィンドウが表示されます。[更新開始] をクリックして実行します。
更新が完了すると確認画面が表示されます。[OK] をクリックして処理を終了します。
以上で TerraMap の更新は終了です



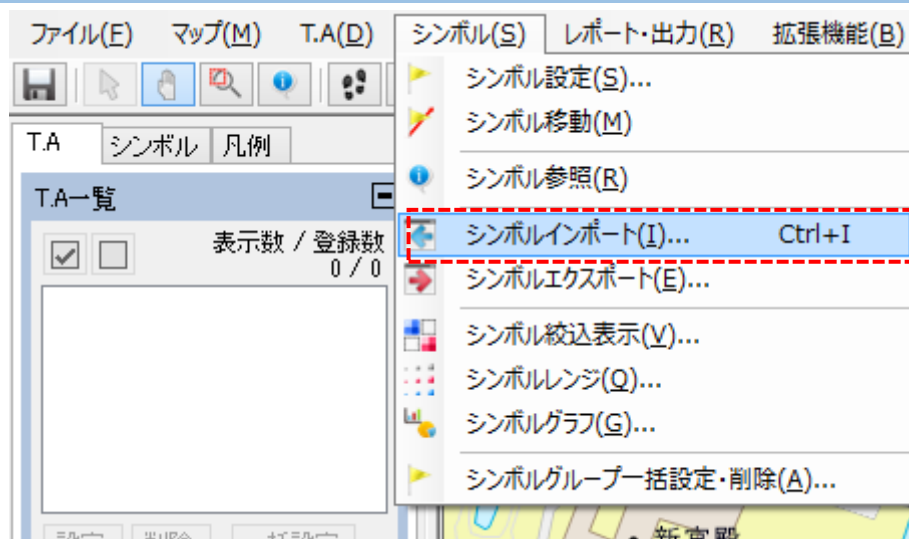
Ⅳ オプションで購入されたポイントデータのインストール

ポイントデータは TerraMap の[シンボルインポート]ウィザードを使用してインストールを行います。
※変換作業代行の場合、変換元データディスクは、弊社にて開封し、データの確認を行っております。

データダウンロードページで選択したデータの展開処理が完了すると展開先に「データ名称のフォルダ」が作成されます。

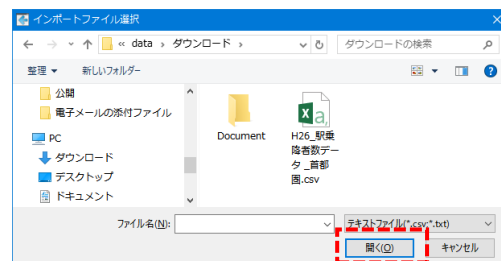
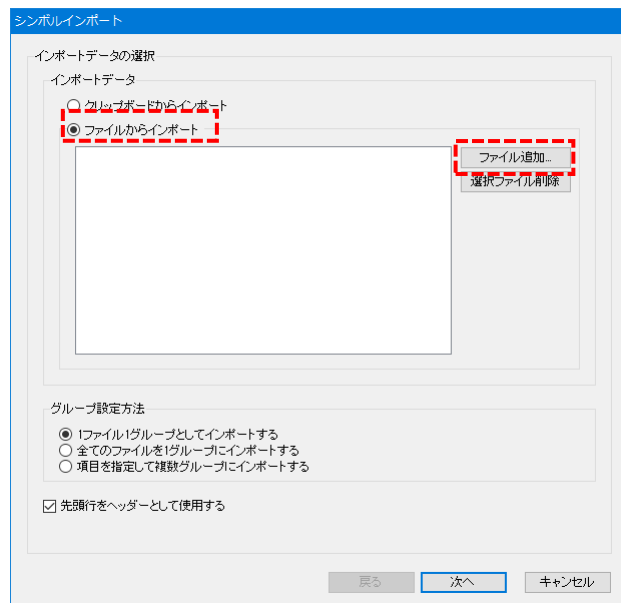
シンボルインポートウィザードを実行します。

i : TerraMap を起動して、メニューバーから[シンボル][シンボルインポート]をクリックします。



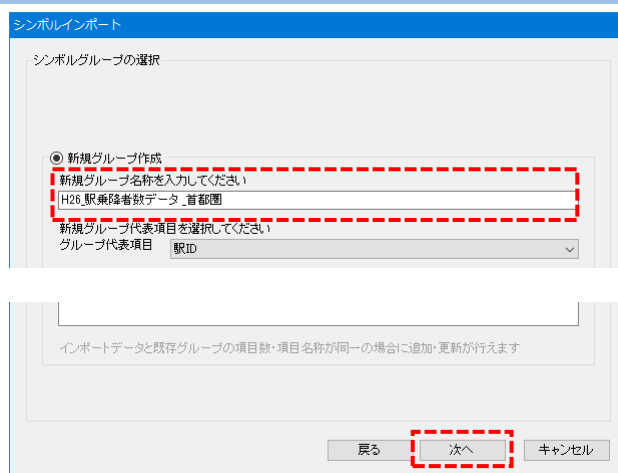
ii : [インポートインポート]ウィザード[インポートデータの選択]ページが表示されます。

[ファイルからインポート][ファイル追加]をクリックすると[インポートファイル選択]画面が表示されます。
展開先フォルダ内の「データ名称のフォルダ」に生成された CSV ファイルを選択して[開く]をクリックします。



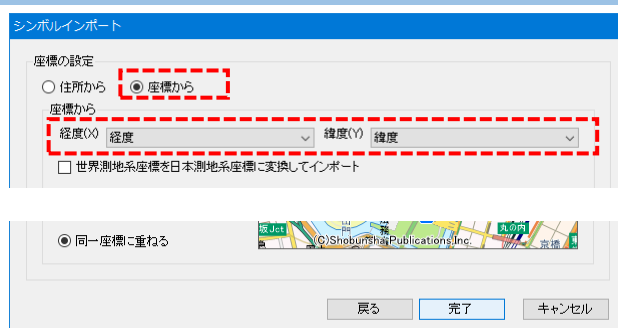
[インポートデータの選択]ページに戻ります。[次へ]をクリックします。

iii : [シンボルグループの選択]ページが表示されます。



[新規グループ名称を入力してください]欄に選択した CSV ファイル名が表示されます。
必要に応じて編集して[次へ]をクリックします。

iv : [座標の設定]ページが表示されます。



[座標から]を選択し[経度][緯度]に「経度」「緯度」項目を設定します。
世界測地系座標のデータをご使用の場合は[世界測地系座標を日本測地系座標に変換してインポート]をチェックします。
[完了]をクリックするとインポートが開始します。
※ インポートデータの座標測地系については、各ポイントデータに付属の仕様書または解説書をご確認ください。

4-6 ディスクをお持ちの場合

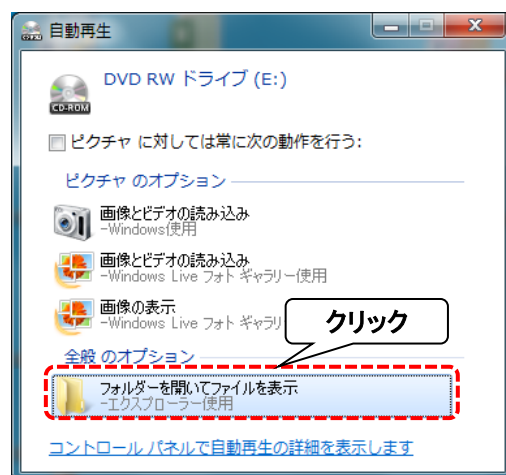
ディスクをお持ちの場合はディスクからセットアップを行います。

各種統計データディスクを DVD ドライブにセットして自動再生画面から「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックします。

(コンピュータによっては、ディスクをセット後にすぐフォルダが開かれる場合もあります。)

自動再生画面が表示されない場合、フォルダが開けない場合は、スタート→コンピューター(マイコンピューター)→DVDドライブをダブルクリックして開きます。

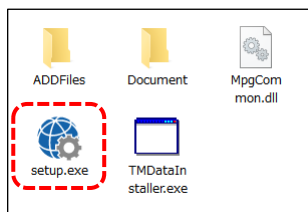
※ 統計データ、アップデートツールの場合は、お使いの TerraMap に対応しているディスクをご使用下さい。



TerraMap SETUP DISC の場合

開いたフォルダ内の[setup.exe]を実行してセットアップを行います。

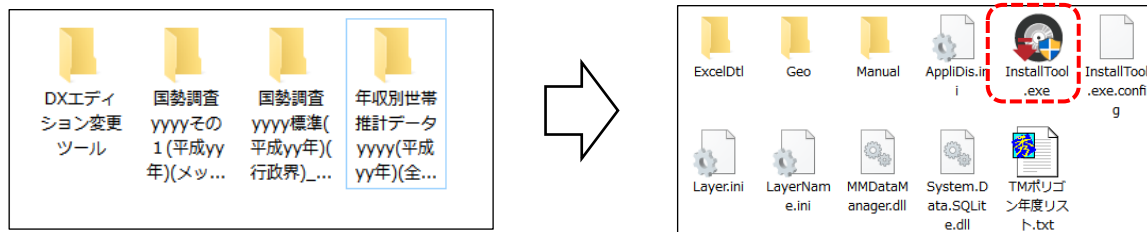
※ セットアップ方法の詳細は 10 ページ 4-4 TerraMap のインストール、バージョンアップをご参照ください。



TerraMap DATA DISC の場合

開いたフォルダ内にある各データフォルダ内のファイルを実行してセットアップを行います。

※ セットアップするデータによってフォルダ名・ファイル名は異なります、詳しくは「12 ページ 4-5 データのインストール」をご参照ください。



4-7 ライセンスキーの取得と登録

セットアップ完了後、TerraMap はインストールから 30 日間の期間限定動作で起動します。

ライセンスキーをご登録いただくことで、期間限定動作の解除を行います。

※ コピーの防止のためこのような措置を取らせていただいております。

取得したライセンスキーの登録を行っていただく事で、以降ライセンスキーの確認画面は表示されなくなります。

※ 30 日間の試用版をインストールされた場合、「ライセンスの確認」画面で「期限使用」ボタンをクリックしていただくことで、ライセンスキーを登録せず試用期間終了までご利用可能です。

○ ライセンスキーの登録時は、必ず Windows に **TerraMap をインストールした管理者権限をもったアカウントでログイン**し、TerraMap を「右クリック」「管理者として実行」から起動して登録してください。

ライセンスキーは 4 営業日以内に発行いたします。ライセンスキーの登録をするまでは、「期限使用」ボタンにてインストール後 30 日間ご利用頂けます。使用期限になりますと「期限使用」ボタンが押せなくなり、TerraMap が使用できなくなります。

○ 同一PCで再インストール行った場合「ライセンスキーの確認画面」が表示されない場合がございます。

その場合はライセンスキーの登録の必要はございません。

I. ライセンス発行キーの取得

Terra Map を起動すると「ライセンスキーの確認」ウィンドウが表示されます。

ライセンスキーの申請をメールで行う場合は「**ライセンスキー申請をメールで行う**」を選択します。

インターネット接続がない、メールソフトがセットアップされていないなど、メール送受信を行うことができない場合は、「サポートダイヤル」までお問合せください。

サポートダイヤル: 03-6455-0481

ライセンスキーの確認

ライセンスキー入力

この度は、弊社 Terra Map をインストールして頂きありがとうございます。
ご利用にあたり弊社よりライセンスキーを発行させていただきます。
メールの送受信が可能なコンピュータの場合は、「ライセンスキー申請をメールで行う」ボタンをクリックして、表示されるフォームに必要事項をご記入いただきお申し込みください。
折り返し弊社より4営業日以内にライセンスキーを発行させていただきます。
メールの送受信ができないコンピュータの場合は、下記サポートダイヤルまでご連絡ください。
※ 担当者がお電話にて対応させていただきます。
なお、下記「期限使用」ボタンをクリックしていただくことで、インストール後1週間はライセンスキーなしでご利用いただけます。
ライセンスキーを登録するために必要な権限が不足しています。管理者権限を持つユーザーでログイン後にキー登録を行ってください。

シリアルNo:

ライセンスキー申請をメールで行う(インターネット接続必須)

サポートダイヤル: 050-3539-7689

使用期限 2018/03/27まで

発行キー

ライセンスキー

【ライセンスキー申請をメールで行う】

クリックすると「**ライセンスキー申請**」ウィンドウが表示されます。

必要事項を入力して「OK」をクリックするとメールソフトが起動します。そのまま送信してください。

* は必須項目です。

メールソフトが設定されていない場合は、「**コピー**」をクリックすると送信内容がコピーされます。他のプログラムに貼り付けてご利用ください

ライセンスキー申請

ライセンスキー申請メールフォーマットを作成します。
※ 必要事項を入力後、OKボタンをクリックして作成されたメールをそのまま送信してください。
既定のメールクライアントが設定されていない場合はコピーボタンから送信内容をコピーしてご利用ください。

*会社名

*住所

*電話番号 Fax番号

部署名

役職 *担当者名

*申請理由
☐ 新規購入
☐ 現在のコンピュータへの再セットアップ
☐ 使用するコンピュータの変更
※「Terra」シリーズの使用許諾書に基づきアンインストール済み
☐ その他(簡単な内容を記入ください)

*は入力必須項目です。

送信メールアドレス宛に無料バージョンアップや操作トレーニングなどのサポート情報を送ります。
※ 送信を拒否される場合はサポート情報などお断りできないことをご了承ください。

☐ 無料サポート情報等(メールマガジン形式)の受信を拒否する

II. ライセンスキーの登録

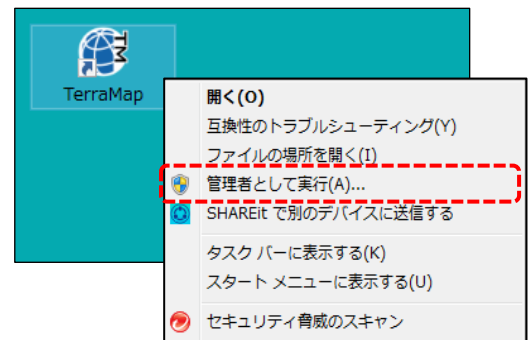
弊社よりライセンスキーが届きましたら、デスクトップに作成されている TerraMap のショートカットアイコンを「右クリック」し、「管理者として実行」を選択して TerraMap を起動します。

「ライセンスの確認」ウインドウの「ライセンスキー」欄に入力のうえ、「キー登録」ボタンを押して登録します。

1 度登録をすれば、この画面は表示されなくなります。

※ 必ず「管理者として実行」を選択して TerraMap を起動してください。

ダブルクリックで起動した場合ライセンスキーの登録ができない(入力できない)場合があります。



5. コンピュータの変更時のデータ移行とアンインストール

TerraMap を使用するコンピュータを変更する場合、旧端末からデータの「バックアップ」ファイルを作成し、新しい端末に「リカバリー」を行うことで、これまで使用していたコンピュータで作成したデータを新しいコンピュータに引き継いで使用することができます。

また、旧端末に残っている TerraMap およびスーパーマッフルデジタルはアンインストールする必要があります。

5-1 データのバックアップ

旧 PC で作成したデータを新 PC への移行、コンピュータの修理などに伴うデータ復旧のための、バックアップファイルの作成を行います。

※必ず、Windows に管理者権限のアカウントでログインして、TerraMap を終了した状態で作業を行ってください。

※ 新 PC にデータを移行しない場合は、バックアップファイルの作成を行う必要はありません。

I. ユーザー設定ファイル（シンボルデータや各種設定）をバックアップ

※ シンボルデータとは、地図上にアイコンでプロットされるポイントデータです。

i. フォルダの確認

Windows の「エクスプローラー」からバックアップ対象のフォルダがあることを確認します。

＜バックアップ対象のフォルダパス＞

C:\¥Users¥****¥AppData¥Roaming¥Terra¥TerraMap

※ 「****」はログインユーザーアカウント名のフォルダです。

※ 「AppData」フォルダは隠しフォルダです。表示されていない場合は下記、「AppData」（「ProgramData」）フォルダが表示されていない場合をご参照ください。

ii. フォルダのバックアップ

開いた「Terra」フォルダ内の「TerraMap」フォルダをコピーして、任意の場所に一時的に保存してください。

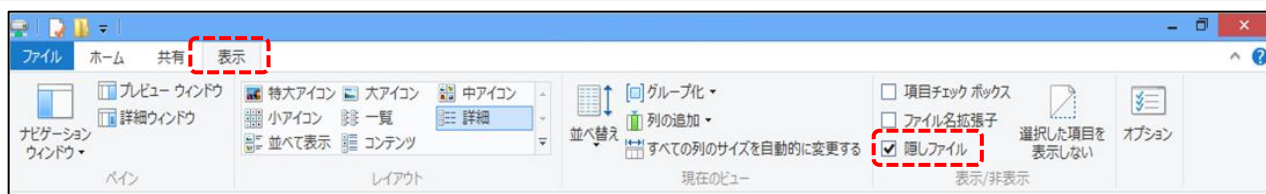
※複数のユーザーアカウントで TerraMap をご利用の場合は、ユーザーアカウントごとにバックアップしてください

以上で、ユーザー設定ファイル（シンボルや各種設定）のバックアップは完了です。

「AppData」（「ProgramData」）フォルダが表示されていない場合

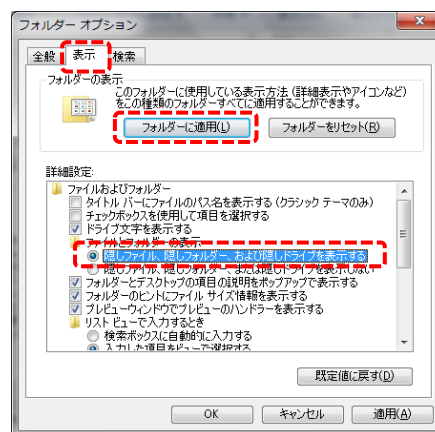
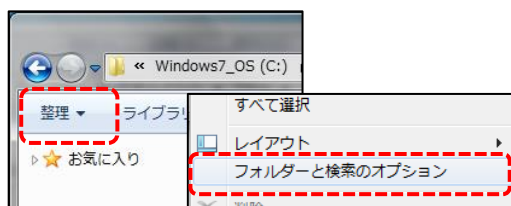
■ Windows 10 / 8 をご利用の方

ウインドウ上部の「表示」タブをクリックし、「隠しファイル」に✓を入れます。「AppData」フォルダが表示されます。



■Windows 7 をご利用の方

- ① ウィンドウ左上の「整理」をクリックします。
- ② 「フォルダと検索のオプション」を選択します。
- ③ 「表示」タブを開き、「隠しファイル、隠しフォルダ、および隠しドライブを表示する」を選択し、「OK」をクリックします。「AppData」フォルダが表示されます。



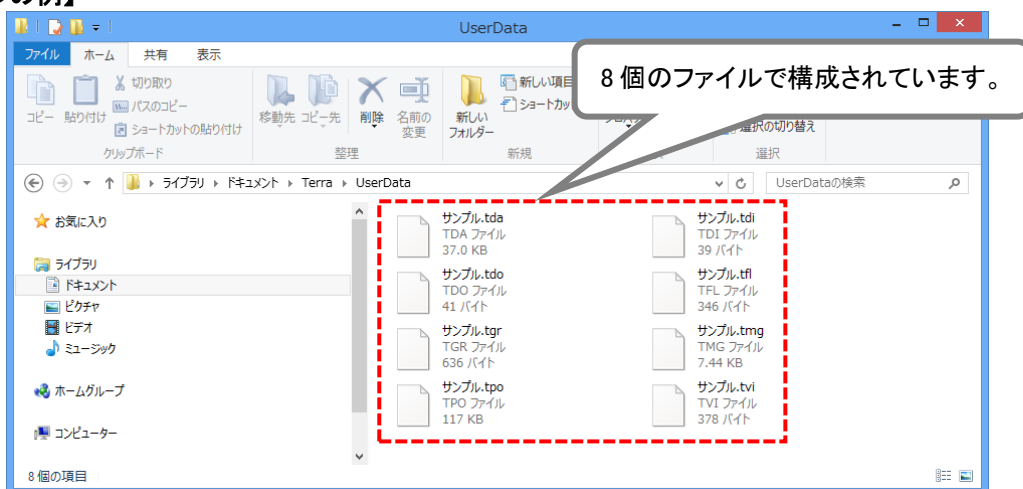
II. 地図情報ファイルとその他出力ファイルのバックアップ

- ※ 保存している地図情報ファイルがない場合は、必要のない手順です。
- ※ 地図情報ファイルとは、TerraMap を使って T.A を作成した状態を保存した、8 個の種類の異なる同名ファイルから構成される分析ファイルです。TerraMap メニューバー「ファイル」→「名前をつけて保存」することにより作成されるファイルです。
- ※ バージョンアップを伴うデータの移行の場合、旧バージョンで作成した地図情報ファイルは読み込んで参照は可能ですが編集作業は制限されます。詳細は「TerraMap2021 バージョンアップ作業にともなうご注意事項」を参照。

【TerraMap2021 バージョンアップ作業にともなうご注意事項】

<https://www.mapmarketing.co.jp/pdf/TM2021caution.pdf>

【地図情報ファイルの例】



- ※ 通常、アンインストールしても削除されないデータですが、バックアップされることをお勧めします。

i. フォルダの確認

Windows の「エクスプローラー」から

C:¥Users¥****¥Documents¥Terra¥UserData フォルダがあることを確認します。

- ※ 「****」はログインユーザーアカウントフォルダです。

- ※ 「UserData」フォルダは TerraMap を使用した Windows アカウントごとに作成されます。複数の Windows アカウントで TerraMap を利用して地図情報ファイルを保存している場合は、すべてのアカウントの「ドキュメント」→「Terra」→「UserData」フォルダをご確認ください。

- ※ 「UserData」フォルダは TerraMap の初期設定時の保存場所です。変更された場合は、その保存場所をご確認ください。

ii. フォルダのバックアップ

「UserData」フォルダをコピーし、デスクトップ等わかりやすい場所に一時的に保存してください。

以上で、地図情報ファイルのバックアップは完了です。

5-2 TerraMap のアンインストール

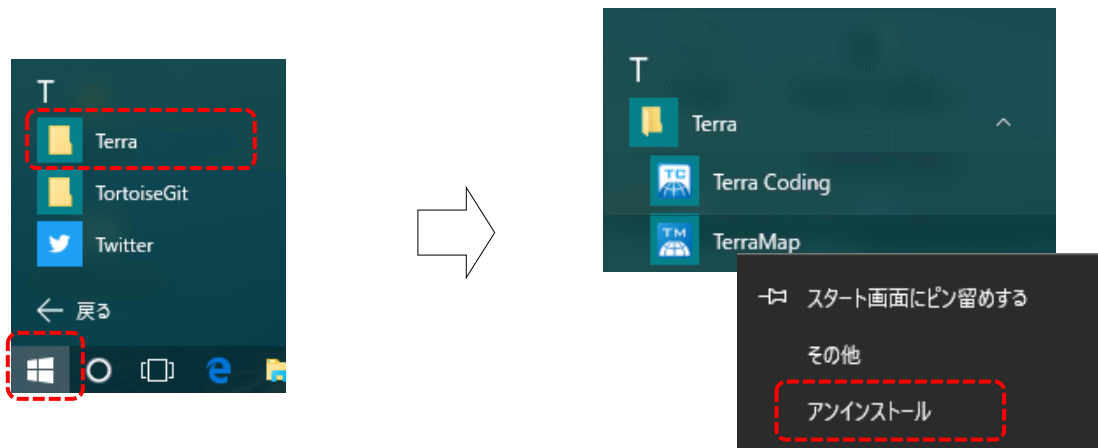
所要目安時間: 5 分～

Windows の「コントロールパネル」「プログラムと機能」からアンインストールします。

I. プログラムと機能を開きます

■ Windows 10 をご利用の方

デスクトップ画面左下スタートボタンからスタートメニュー内の TerraMap のショートカットを右クリックして「アンインストール」を選択します。「プログラムと機能」ウインドウが表示されます。



■ Windows 8.1 をご利用の方

デスクトップ画面右上にマウスカーソルをあて、チャームメニューを表示し、「設定」チャーム→「コントロールパネル」→「プログラムと機能」を開きます。

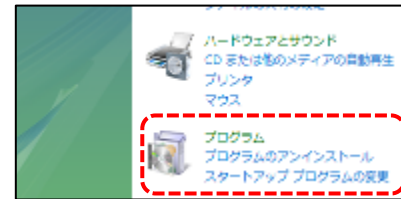
コントロールパネルの表示が「コントロールパネルホーム」の場合は、「プログラムのアンインストール」を選択します。「スタート」画面→「TerraMap」を右クリック→「アンインストール」を選択しても同様です。



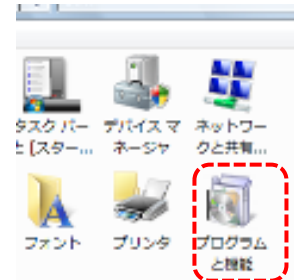
■ Windows 7 をご利用の方

デスクトップ画面左下にある「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムと機能」を開きます。
コントロールパネルの表示が「コントロールパネルホーム」の場合は、「プログラムのアンインストール」を選択

「コントロールパネルホームの場合」



「クラシック表示の場合」



II. アンインストール

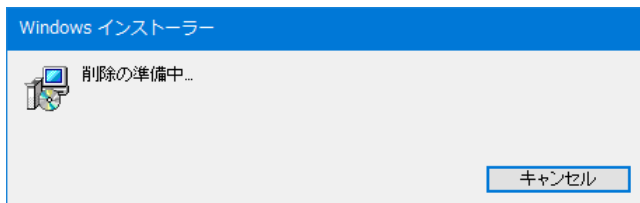
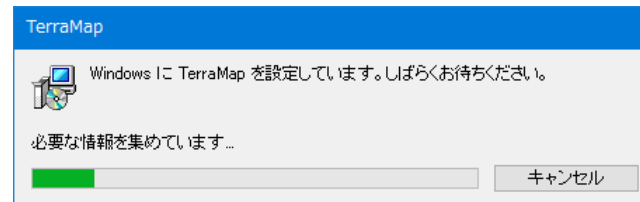
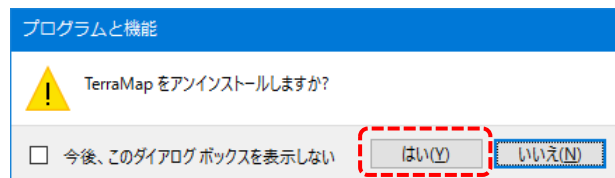
「Terra Map」を選択し、「アンインストール」をクリックしてください。
クリックするとアンインストールの確認画面が表示されます。
Windows10 の画像を使用しておりますが、他の OS でも操作は同様です。



削除中にユーザーアカウント制御の画面が出る場合があります。「はい」をクリックして続行してください。また、インストールしているアカウントに管理者権限がない場合には、管理者権限アカウントのパスワードを入力して「はい」をクリックしてください。



アンインストールの確認画面が表示されます。「はい」をクリックします。



削除の準備が始まります。しばらくお待ちください。

TerraMap の削除が始まります。しばらくお待ちください。
TerraMap の削除が終了すると、この画面は消えます。アンインストールの完了です。
※ 作成した地図情報ファイルやシンボルデータ等、一部のフォルダは削除されません。

5-3 地図データのアンインストール

所要目安時間:10 分～

※ 別のコンピュータにセットアップされる場合に、必要な手順です。

1. 「②TerraMap のアンインストール」と同様に、プログラムの削除画面を開きます。
2. 「スーパーマッフル・デジタル最新版」を選択し、「アンインストール」をクリックしてください。
3. ウィザードに従って、アンインストールを完了させて下さい。

※ 地図データのアンインストールの詳細は、昭文社スーパーマッフル・デジタルに付属のインストールマニュアルをご覧ください。

「⑦TerraMap のアンインストール」「⑧地図データのアンインストール」終了後、
新 PC に 5 ページ「4-1 地図データ(スーパーマッフル・デジタル)のインストール」から 16 ページ「4-7 ライセンス
キーの取得と登録」までの各手順を行います。
終了したら 24 ページ「5-4 バックアップデータのリカバリ」に進みます。

5-4 バックアップデータのリカバリ

5-1 データのバックアップで作成したバックアップファイルを、修理後・変更後のコンピュータに移行する作業です。

※ 「5-1 データのバックアップ」を行っていない場合は、必要のない手順です。

※ リカバリ実行前に必ずセットアップした TerraMap の起動と終了を行ってください。

※ 新しいコンピュータ(OSの再インストールなどを行ったコンピュータなど)に TerraMap をセットアップした場合は、リカバリ先のユーザーアカウントで起動後、リカバリ実行前に必ずセットアップした TerraMap の起動と終了を行ってください。

※ バックアップ元データが TerraMap バージョン 10 以前の場合は、バックアップしたシンボルデータ(SymbolData ファイル)をデスクトップ等の任意の場所へ保存し、TerraMap メニューバー「オプション」→「Ver10 以前シンボルファイル変換」から TerraMap2021 用へ変換を行ってください。

I. ユーザー設定ファイル（シンボルデータや各種設定）のリカバリ

i 「5-1 データのバックアップ」でデスクトップ等に一時的に保存した「TerraMap」フォルダを用意します。

ii Windows の「エクスプローラー」から、「ローカルディスク(C:)」→「ユーザー」→「TerraMap をご利用のユーザーアカウントフォルダ」→「AppData」→「Roaming」→「Terra」を開きます。

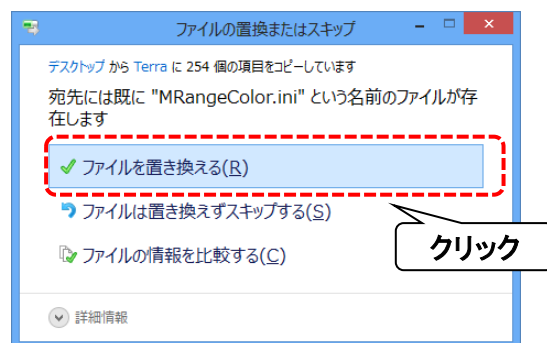
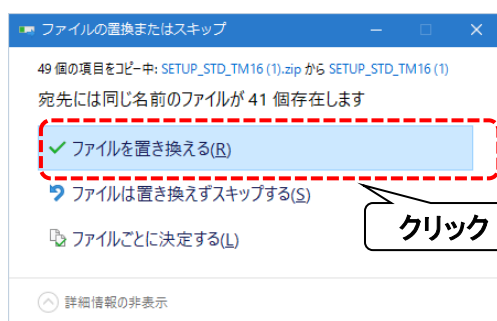
※ 「Terra」フォルダは、「TerraMap をご利用のユーザーアカウント」から初回起動時に生成されます。リカバリを行うユーザーアカウントから TerraMap の起動・終了を行った後にリカバリ処理を行ってください。

※ 「AppData」フォルダが表示されない場合については、「5-1 データのバックアップ」の「「AppData」フォルダが表示されていない場合」をご覧ください。

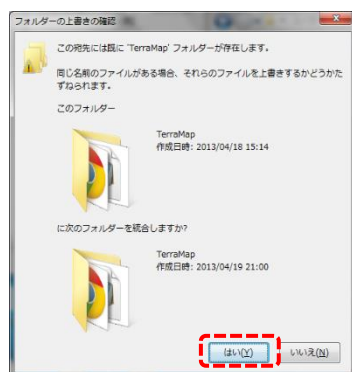
iii 「1」で用意した「TerraMap」フォルダを、「2」で開いた「Terra」フォルダ内にコピー＆貼り付け、または移動します。上書き確認のメッセージが表示されますので、ファイルの置き換えを選択して下さい。

■Windows 10 をご利用の方

■Windows 8.1 をご利用の方



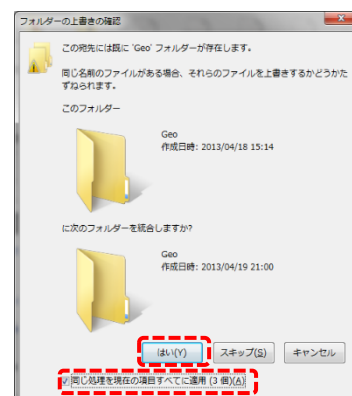
■Windows 7 をご利用の方



①「はい」をクリック



②「同じ処理を次の～個の競合に適用」にチェック。
③「コピーして置き換える」をクリック



④「同じ処理を現在の項目すべてに適用」にチェック
⑤「はい」をクリック

以上で、ユーザー設定ファイル(シンボルデータや各種設定)のリカバリは完了です。

II.地図情報ファイルのリカバリ

i	「5-1 データのバックアップ」でデスクトップ等に一時的に保存した「UserData」フォルダを用意します。
ii	Windows の「エクスプローラー」から C:¥Users¥****¥Documents¥Terra¥UserData フォルダがあることを確認します。 ※「****」はログインユーザーアカウントフォルダです。 ※ 「Terra」フォルダは、「TerraMap をご利用のユーザーアカウント」から初回起動時に生成されます。リカバリを行うユーザーアカウントから TerraMap の起動を確認した後にリカバリ処理を行ってください。
iii	「1」で用意した「UserData」フォルダを、「Terra」フォルダ内にコピー＆貼り付け、または移動します。上書き確認のメッセージが表示されますので、「ファイルを置き換える」を選択して下さい。
※ 「スタート」→「ドキュメント」→「Terra」は、デフォルトの保存場所です。任意の場所に保存してもご利用可能です。 ※ バックアップ元データが TerraMap バージョン 10 以前の場合は、上記リカバリ作業完了後、TerraMap メニューバー「オプション」→「Ver.10 以前地図情報ファイル変換」から TerraMap2021 用へ変換を行ってください。	

TerraMap セットアップマニュアル

2021 年 1 月 14 日

マップマーケティング株式会社

■本社

東京都渋谷区笹塚 1-64-8

Daiwa 笹塚ビル 7F

TEL:03-6455-0478 FAX:03-6455-0479

■大阪支店

大阪府大阪市北区梅田 1-1-3-500

大阪駅前第 3 ビル 5F-10

TEL:06-6105-5960

●サポート専用ダイヤル:03-6455-0481

●サポート専用アドレス:support@mapmarketing.co.jp